

## 園内「餅つき大会」への参加

令和3年12月9日（木）、私たち1年生は園内行事である「餅つき大会」へ、入所者様との交流を深める目的で参加させて頂きました。

食べるものにかかわらせていただくため、身だしなみや服装をはじめ、体調管理をし、ワクワクした気持ちで臨ませていただきました。

会場にまず到着したとき、中央に、石臼と杵が準備されており、机には紅葉や銀杏の葉っぱの押し花など季節を感じさせる飾りや置物があり、に入った瞬間から感動しました。

園長先生をはじめ、看護部長、医師、看護師、介護員、栄養士、保育士の方々など、愛生園の職員の方々が、入所者様をお迎えしておられました。

私たちは、入所者様と一緒に、餅つきを間近で見て、手拍子や「よいしょ！」の掛け声で応援させて頂きました。また、職員の方々が、つきあがった餅をすばやく丸餅にしてくださり、きな粉餅やおしるこを作ってくださったものを、入所者様へ運びました。入所者様は、つきたてのお餅を美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。中でも職員の方々は、入所者様に声を掛けたり話を聞いたり、お餅を食べにくそうにされている入所者様がいらしたら「お茶が必要やね」と常に目を配られており、入所者様が安心・安全に行事を楽しむことができるように様々な配慮をされていました。

今回の行事に参加させて頂き、入所者様のその人らしさを尊重し、一人ひとりに寄り添うことが大切であること、また、入所者様を支えていくためにはチームワークが必要であることを学ばせていただきました。この学びを、今後の自分の看護に活かしていきたいと思えます。

「お餅を、もう一ついかがですか。」



入所者様と一緒に、「よいしょ！」と掛け声をかけました。